

臨床医学概論

責任者・コーディネーター	病態薬理学講座分子細胞薬理学分野 奈良場 博昭 教授 病態薬理学講座分子細胞薬理学分野 藤原 俊朗 講師		
担当講座・学科(分野)	内科学講座血液腫瘍内科分野、内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野、耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座、産婦人科学講座、脳神経外科学講座、小児科学講座、臨床検査医学・感染症学講座、放射線腫瘍学、緩和医療学、歯科補綴学講座冠橋義歯・口腔インプラント学分野、歯科保存学講座歯周療法学分野、情報科学科医用工学分野、病態薬理学講座臨床医化学分野		
対象学年	4	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義 32時間 (16コマ)
期間	通期		
単位数	2単位		

・学修方針（講義概要等）

6年制薬剤師教育においては、医療現場で活躍する薬剤師を育てる医療薬学が重視されている。「臨床医学概論」では、主に岩手医科大学医学部・歯学部教員らによる臨床医学の講義により、医療現場での「診療」について学び、医療現場で必要になる知識や技能の習得を目指す。また、現在の医学、医療が直面している問題点とその解決法についての理解を深める。この科目での学びは、次年度の実務実習において、臨床現場での実践的学修に備え、広い視野で観察し、考察する能力の基盤の構築に繋がる。

・教育成果（アウトカム）

本講義では、臨床現場での診療の流れを意識して、内科的数値の確認を含む臨床検査から始まり、その検査結果と関連する病態を理解し、発症に伴い発生する諸処の状況への対応を考え、さらに外科的治療への対応を学んでいく。また、治療から緩和医療への移行を学び、医療の現状を把握していく。これらの一連の臨床的医療を包括的に学ぶことにより、主要な疾患についての検査、病因、診断、治療などを理解することができるようになる。これにより、良質で安全な医療を実践するために臨床薬剤師として必要な基本的な医学知識を習得できる。さらに、薬剤師としてチーム医療に携わる意義と心構えについても理解が深まる。

(ディプロマ・ポリシー：2, 4, 7, 8, 9)

・到達目標（SBO）

1. 臨床医学の基本概念を学び医療のしくみを知り、説明することができる。(☆)
2. 医療に求められる技能、態度、倫理、安全性を理解し、説明することができる。(☆)
3. 現代医療の現状と役割について理解し、説明することができる。(☆)
4. 体の仕組みを学び、病気が患者に及ぼす影響について概説できる。(☆)
5. 代表的な疾患における薬物治療、食事療法、その他の非薬物治療（外科手術など）の位置づけを説明できる。(589)
6. 尿検査および糞便検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。(581)

7. 血液検査、血液凝固機能検査および脳脊髄液検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。(582)
8. 血液生化学検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。(583)
9. 免疫学的検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。(584)
10. 動脈血ガス分析の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。(585)
11. 代表的な生理機能検査（心機能、腎機能、肝機能、呼吸機能等）、病理組織検査および画像検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。(586)
12. 代表的な微生物検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。(587)
13. 循環器系、脳神経系、女性生殖器系疾患の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療、外科的治療法について列挙できる。(☆)
14. 頭頸部、小児、口腔の疾患の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療、外科的治療法について列挙できる。(☆)
15. 糖尿病の症状と最先端の治療について理解し、糖尿病治療において薬剤師が果たす役割について概説できる。(☆)
16. 診察から治療までの流れを理解し、その中で薬剤師が果たす役割について概説できる。(☆)
17. 悪性腫瘍の治療における薬物治療の位置づけを概説できる(714)。
18. 放射線腫瘍学について概説できる。(☆)
19. がん終末期の病態（病態生理、症状等）と治療を説明できる。(728)
20. がん性疼痛の病態（病態生理、症状等）と薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。(729)
21. 現代医学・医療が直面している問題点を理解し、説明することができる。(☆)
22. 医師、歯科医師の視点から疾患を考えることにより、医療をより深く理解し、説明することができる。(☆)

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
4/7	月	3	小児科学講座	松本 敦 助教	<p>診断と治療1（小児疾患）（☆） 小児の疾患の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療について列挙できる。</p> <p>【その他：ポートフォリオ】 事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、関連するこれまでの講義の内容を復習しておく。 事後学修：講義の内容について、レジメおよびコメントペーパーを参考に振り返ってみる。</p>
4/14	月	3	臨床検査医学・感染症学講座	藤原 亨 准教授	<p>臨床検査法概論(☆) 代表的な臨床検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾患を挙げることができる。</p> <p>事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、関連するこれまでの講義の内容を復習しておく。 事後学修：講義の内容について、ポートフォリオを作成する。</p> <p>【その他：ポートフォリオ】</p>

4/14	月	4	内科学講座 消化器内科分野	松本 主之 教授	<p>診断と治療 2 (消化器系疾患) (☆) 消化器系疾患の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療について列挙できる。</p> <p>事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、関連するこれまでの講義の内容を復習しておく。</p> <p>事後学修：講義の内容について、ポートフォリオを作成する。</p> <p>【その他：ポートフォリオ】</p>
5/8	木	4	内科学講座 リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野	藤本 穰 准教授	<p>診断と治療 3 (リウマチ・膠原病・アレルギー系疾患) (☆) リウマチ・膠原病・アレルギー系疾患の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療について列挙できる。</p> <p>事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、関連するこれまでの講義の内容を復習しておく。</p> <p>事後学修：講義の内容について、ポートフォリオを作成する。</p> <p>【その他：ポートフォリオ】</p>
5/12	月	4	内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科分野	石垣 泰 教授	<p>診断と治療 4 (糖尿病) (☆) 糖尿病の症状と最先端の治療について理解し、糖尿病治療において薬剤師が果たす役割について概説できる。</p> <p>事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、関連するこれまでの講義の内容を復習しておく。</p> <p>事後学修：講義の内容について、ポートフォリオを作成する。</p> <p>【その他：ポートフォリオ】</p>
6/3	火	4	内科学講座 腎・高血圧内科分野	旭 浩一 教授	<p>診断と治療 5 (腎臓・高血圧性疾患) (☆) 腎臓・高血圧性疾患の症状とそれらに対する薬物治療の益と害について理解し概説できる。</p> <p>【その他：ポートフォリオ】</p> <p>事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、関連するこれまでの講義の内容を復習しておく。</p> <p>事後学修：講義の内容について、レジメおよびコメントペーパーを参考に振り返ってみる。</p>
6/9	月	4	内科学講座 脳神経内科・老年科分野	板橋 亮 教授	<p>診断と治療 6 (脳神経疾患) (☆) 脳神経疾患の種類及びその症状とそれら</p>

					<p>に対する薬物治療について理解し、脳神経疾患治療における薬剤師の役割を概説できる。</p> <p>事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、関連するこれまでの講義の内容を復習しておく。</p> <p>事後学修：講義の内容について、ポートフォリオを作成する。</p> <p>【その他：ポートフォリオ】</p>
6/19	木	4	内科学講座 循環器内科分野	石田 大 准 教授	<p>診断と治療 7（循環器疾患）（☆） 虚血性心疾患の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療について列挙できる。</p> <p>事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、関連するこれまでの講義の内容を復習しておく。</p> <p>事後学修：講義の内容について、ポートフォリオを作成する。</p> <p>【その他：ポートフォリオ】</p>
6/25	水	3	分子細胞薬理学 分野	藤原 俊 朗 講師	<p>画像検査（☆） 医用画像の違いについて概説できる。</p> <p>【その他：ポートフォリオ】</p> <p>事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、関連するこれまでの講義の内容を復習しておく。</p> <p>事後学修：講義の内容について、レジメおよびコメントペーパーを参考に振り返ってみる。</p>
8/18	月	2	リハビリテーション 医学講座	西村 行 秀 教授	<p>リハビリテーション概論（☆） リハビリテーションの意義、方法、実践について概説できる。</p> <p>事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、関連するこれまでの講義の内容を復習しておく。</p> <p>事後学修：講義の内容について、ポートフォリオを作成する。</p> <p>【その他：ポートフォリオ】</p>
8/25	月	2	歯学教育学分野	八重 柏 隆 教授	<p>診断と治療 8（歯周病）（☆） 歯周病の種類及びその症状とそれらに対する歯周治療の順序と治療方法等について列挙できる。</p> <p>事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、関連するこれまでの講義の内容を復習しておく。</p> <p>事後学修：講義の内容について、ポートフォリオを作成する。</p>

					【その他：ポートフォリオ】
9/29	月	4	産婦人科学講座	庄子 忠宏 准教授	<p>診断と治療 9 (産科・婦人科疾患) (☆) 女性生殖器疾患の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療、外科的治療法について列挙できる。</p> <p>事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、関連するこれまでの講義の内容を復習しておく。</p> <p>事後学修：講義の内容について、ポートフォリオを作成する。</p> <p>【その他：ポートフォリオ】</p>
10/2	木	4	内科学講座 血液腫瘍内科分野	伊藤 薫樹 教授	<p>診断と治療 10 (がん薬物療法学) (☆) 血液悪性疾患および種々の固形がんに対する薬物療法の実際について説明できる。</p> <p>事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、関連するこれまでの講義の内容を復習しておく。</p> <p>事後学修：講義の内容について、ポートフォリオを作成する。</p> <p>【その他：ポートフォリオ】</p>
10/3	金	4	放射線腫瘍学科	有賀 久哲 教授	<p>診断と治療 11 (放射線腫瘍学) (☆) 放射線腫瘍学について概説できる。</p> <p>事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、関連するこれまでの講義の内容を復習しておく。</p> <p>事後学修：講義の内容について、ポートフォリオを作成する。</p> <p>【その他：ポートフォリオ】</p>
10/6	月	3	緩和医療学科	木村 祐輔 教授	<p>診断と治療 12 (緩和ケア) (☆) 緩和ケアの概念と基本的な治療・ケアを説明できる。</p> <p>事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、関連するこれまでの講義の内容を復習しておく。</p> <p>事後学修：講義の内容について、ポートフォリオを作成する。</p> <p>【その他：ポートフォリオ】</p>
10/6	月	4	分子細胞薬理学 分野	奈良場 博昭 教授 藤原 俊朗 講師	<p>総合復習</p> <p>ポートフォリオをもとに、この科目で学んだことをグループワークで考えて、プレゼンテーションを実施する。</p> <p>事前学修：ポートフォリオの内容を復習しておく。</p> <p>事後学修：総合レポートを作成する。</p>

					【グループワークおよびプレゼンテーション】
--	--	--	--	--	-----------------------

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	スタンダード薬学シリーズⅡ 6 「医療薬学Ⅰ～Ⅳ」	日本薬学会 編	東京化学同人	2015～ 2017
参	薬物治療学 改訂第12版	吉尾 隆 他編	南山堂	2023

・成績評価方法

ポートフォリオから作成状況（80%）および総合復習のプレゼンテーションと質疑応答（20%）から総合的に評価する。
--

・特記事項・その他

<p>当該科目に関連する実務経験の有無 有 医師、歯科医師等の実務の経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。 毎回の講義毎にポートフォリオを作成する。作成状況の確認のため、授業進行途上にて、数回の提出を求める。 予習・復習のポイント：講義内容については、できるだけその日のうちに復習しておく。予習については、予定されている講義内容をシラバスで確認しておくこと。機能形態学、細胞生物学、生化学、薬理学、医療薬学などで学習した内容について再確認しておくこと、理解の助けになる。 授業に対する事前学修には20分、事後学修としてポートフォリオの作成に29分を要する。</p>
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン	1	講義資料の映写